

## 八代市の健全化判断比率

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、地方公共団体は、毎年度決算時に健全化判断比率などを算定することが義務付けられました。(詳細は市のホームページ(<http://www.city.yatsushiro.kumamoto.jp/>)に掲載しています。)

単位：%

事業名	H21年度	備考	
①実質赤字比率	黒字のため	早期健全化基準	11.68
	該当なし	財政再生基準	20.00
②連結実質赤字比率	黒字のため	早期健全化基準	16.68
	該当なし	財政再生基準	40.00
③実質公債費比率	16.5	早期健全化基準	25.0
		財政再生基準	35.0
④将来負担比率	131.5	早期健全化基準	350.0
		財政再生基準	

### <解説>

①**実質赤字比率**…一般会計などの赤字の程度を指標化したものです。**八代市は黒字のため該当なしとなっています。**  
対象：一般会計、ケーブルテレビ事業特別会計、診療所特別会計

②**連結実質赤字比率**…一般会計のほか、特別会計や公営企業など市の全会計の赤字の程度を指標化したものです。**八代市は黒字のため該当なしとなっています。**  
対象：一般会計、特別会計、公営企業会計

③**実質公債費比率**…自治体の財布から借金返済にどれだけあてられているかを示す比率です。**八代市は16.5%で、早期健全化基準の25%以上には該当していません。**  
対象：一般会計、特別会計、公営企業会計、一部事務組合・広域連合

④**将来負担比率**…借入金など将来支払う可能性のある負担などの現時点での残高の程度を指標化し、将来財政の圧迫度合いを示す指標です。**八代市は131.5%で、早期健全化基準の350%以上には該当していません。**  
対象：一般会計、特別会計、公営企業会計、一部事務組合・広域連合、地方公社・第三セクターなど

■**早期健全化基準**…財政運営上の黄信号。この基準が1つでも当てはまると、健全化計画の策定や外部監査が義務づけられます。

■**財政再生基準**…財政運営上の赤信号。早期健全化同様健全化計画の策定や外部監査が義務づけられ地方債の発行も制限されます。

## ◆特別会計決算

事業名	H21年度	
国民健康保険	歳入	180億7,739万円
	歳出	175億5,230万円
	差引	5億2,509万円
老人保健医療	歳入	3,148万円
	歳出	3,978万円
	差引	△830万円
後期高齢者医療	歳入	15億0,223万円
	歳出	14億7,783万円
	差引	2,440万円
介護保険	歳入	114億2,293万円
	歳出	114億1,079万円
	差引	1,214万円
公共下水道事業	歳入	60億5,880万円
	歳出	60億7,430万円
	差引	△1,550万円
簡易水道事業	歳入	2億1,399万円
	歳出	2億1,399万円
	差引	0万円
農業集落排水処理施設事業	歳入	1億3,028万円
	歳出	1億3,028万円
	差引	0万円
浄化槽市町村整備推進事業	歳入	6,050万円
	歳出	6,050万円
	差引	0万円
ケーブルテレビ事業	歳入	3億1,366万円
	歳出	3億1,366万円
	差引	0万円
診療所	歳入	8,206万円
	歳出	8,206万円
	差引	0万円
久連子財産区	歳入	29万円
	歳出	19万円
	差引	10万円
椎原財産区	歳入	29万円
	歳出	19万円
	差引	10万円
合計	歳入	378億9,390万円
	歳出	373億5,587万円
	差引	5億3,803万円

## ◆公営企業会計決算

水道事業会計	収益的収支	歳入	4億8,212万円
		歳出	3億9,092万円
	資本的収支	歳入	2億6,802万円
		歳出	4億0,204万円
病院事業会計	収益的収支	歳入	6億4,185万円
		歳出	6億3,882万円
	資本的収支	歳入	4,926万円
		歳出	5,312万円

※収益的収支…1年間の企業経営に必要な全ての費用  
※資本的収支…将来の企業経営活動に備えた全ての費用

決算については、市のホームページ(<http://www.city.yatsushiro.kumamoto.jp/>)でもお知らせしています。行政の仕事は、皆さんの税金で賄われています。

「まちづくりは人づくり」ともいいます。住んでいいまちと思える八代市にするためにも、皆さんも市政に積極的に参加しましょう。

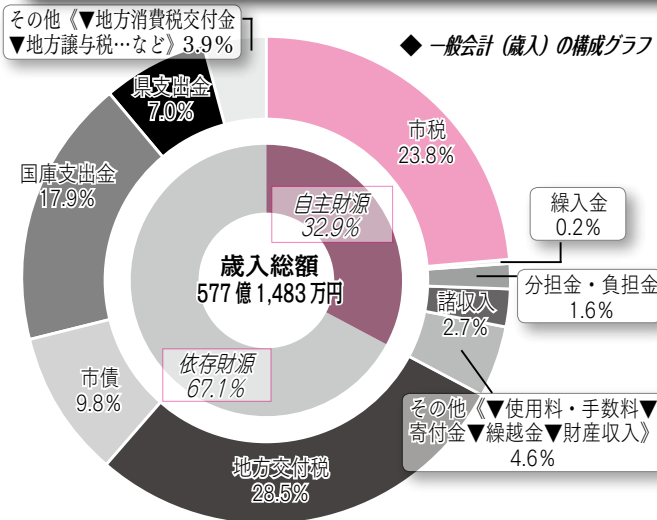
問合せ 財政課 ☎ 33-4106 Eメール: [zaisei@city.yatsushiro.lg.jp](mailto:zaisei@city.yatsushiro.lg.jp)

# 平成21年度 八代市決算報告

決算とは、みなさんの家計に例えると、1年間の家計簿を収入と支出に分け、それぞれ給料や借入金、食費や医療費など大きな項目ごとにまとめたようなもので、それを見直すことによって、今後の家計(市政)に活かしていこう、というものです。

平成21年度の八代市の家計(一般会計)は、歳入総額577億1,483万円、歳出総額565億8,766万円、差引き11億2,717万円の黒字で22年度の歳入となります。八代市の家計簿(決算)がまとまりましたので、その概要をお知らせします。

## 一般会計の収入総額 577億1,483万円



単位: 万円

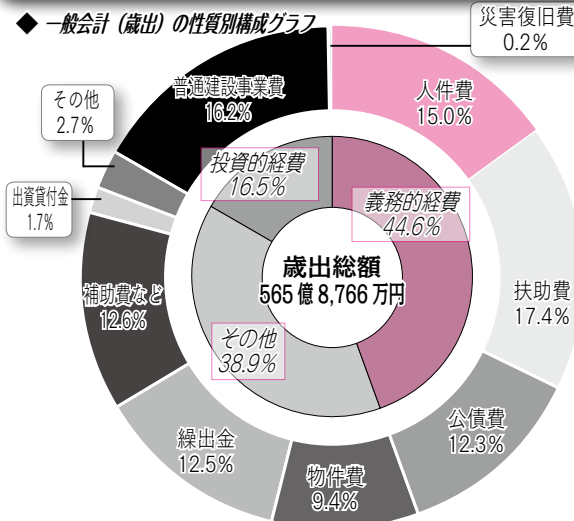
歳入の種類	H20	H21	増減額
市税	1,433,113	1,373,130	-59,983
繰入金	21,595	11,479	-10,116
分担金・負担金	108,527	91,932	-16,595
諸収入	97,129	153,834	56,705
その他	220,543	268,811	48,268
<b>小計</b>	<b>1,880,907</b>	<b>1,899,186</b>	<b>18,279</b>
地方交付税	1,570,283	1,646,171	75,888
市債	552,220	563,820	11,600
国庫支出金	646,864	1,029,542	382,678
県支出金	359,671	406,424	46,753
その他	230,554	226,340	-4,214
<b>小計</b>	<b>3,359,592</b>	<b>3,872,297</b>	<b>512,705</b>
<b>合計</b>	<b>5,240,499</b>	<b>5,771,483</b>	<b>530,984</b>

市民1人当たりの市税負担額: 102,131円

- 市民税 39,113円
- 固定資産税 55,369円
- 軽自動車税 2,116円
- 市たばこ税 5,435円
- 入湯税 98円

平成22年3月末 134,447人で算出

## 一般会計の支出総額 565億8,766万円



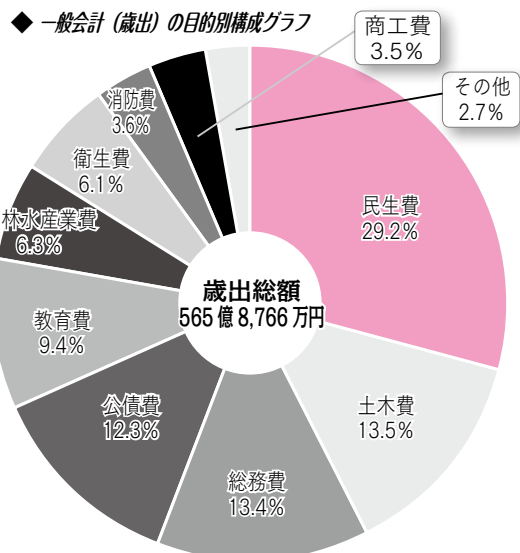
### 歳出の性質別構成

※経費を経済的性質により分類したもの。 単位: 万円

費目	H20	H21	増減額
人件費	896,792	847,168	-49,624
扶助費	941,525	981,933	40,408
公債費	692,697	696,418	3,721
物件費	471,063	533,952	62,889
繰出金	675,957	706,891	30,934
補助費など	477,083	713,210	236,127
出資貸付金	79,469	93,683	14,214
その他	113,709	153,880	40,171
普通建設事業費	764,177	918,358	154,181
災害復旧費	18,004	13,273	-4,731
<b>合計</b>	<b>5,130,476</b>	<b>5,658,766</b>	<b>528,290</b>

市民1人当たりに使われたお金: 420,892円

- 民生費 122,958円
- 土木費 56,766円
- 総務費 56,370円
- 公債費 51,811円
- 教育費 39,504円
- 農林水産業費 26,488円
- 衛生費 25,468円
- 消防費 15,208円
- 商工費 14,664円
- その他 11,655円



### 歳出の目的別構成

※経費を行政目的により分類したもの。 単位: 万円

費目	H20	H21	増減額
民生費	1,618,530	1,653,135	34,605
土木費	740,795	763,201	22,406
総務費	535,109	757,877	222,768
公債費	692,697	696,588	3,891
教育費	436,922	531,125	94,203
農林水産業費	310,244	356,120	45,876
衛生費	323,679	342,403	18,724
消防費	193,471	204,467	10,996
商工費	161,952	197,158	35,206
その他	117,077	156,692	39,615
<b>合計</b>	<b>5,130,476</b>	<b>5,658,766</b>	<b>528,290</b>